

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

令和7年度

施 設 名	新潟市江南区亀田地区体育施設（プールあり） 新潟市亀田総合体育館		
管 理 者 名	公益財団法人 新潟市開発公社	指 定 期 間	令和6年4月1日 ~ 令和11年3月31日
担 当 課	江南区産業振興課		
所 在 地	新潟市江南区茅野山3丁目1番13号		
根 拠 法 令	スポーツ基本法		
設 置 条 例	新潟市体育施設条例		
施 設 概 要	施工年月日 (亀田総合体育館) 平成8年2月1日 (武道場・屋内多目的運動場) 平成26年12月11日 敷地面積 亀田総合運動公園全体 105,408.30㎡ (江南区文化会館敷地 約20,000㎡、農村公園分を含む) 建築面積 9,606.79㎡ 延床面積 9,606.79㎡ 構造 鉄筋コンクリート造 一部鉄筋2階建・塔屋2階建 主要施設 メインアリーナ (バスケットボール2面/バレーボール2面/卓球33台/バドミントン8面) サブアリーナ (バスケットボール1面/バレーボール2面/卓球20台/バドミントン4面) 室内温水プール (25m×6コース・幼児用・低学年・着水プール・ウォータースライダー1基) トレーニングルーム (トレーニング機器各種) ランニングコース (1周 185m) 観覧席 固定708席・会議室・ミーティングルーム・医務室等 屋外テニスコート (砂入り人工芝 照明付 3面) 武道場・屋内多目的運動場【別棟】 構造：鉄筋コンクリート造 一部鉄骨平屋建 建築面積 2,803.08㎡、延床面積 2,518.40㎡ 武道場 (柔道場2面、剣道場2面、簡易観覧席190席、屋内多目的運動場と併設) 屋内多目的運動場 (フットサル1面又はテニスコート2面、武道場と併設) 駐車場 (アスファルト舗装696台・江南区文化会館と共有)、駐輪場 総合運動公園トイレ、東屋等		

施 設 設 置 目 的
スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として設置。
管 理 ・ 運 営 に 関 する 基 本 理 念 ， 方 針 等
(1)新潟市体育施設条例（以下「条例」という。）に基づき、スポーツの普及および振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活に寄与する管理運営を行うこと。
(2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、サービスの向上や平等利用を確保すること。
(3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。
(4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。
(5)新潟市個人情報保護に関する法律施行条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。
(6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。
(7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。
(8)指定管理者制度を理解し、実践すること。
(9)江南区の施策の方向性（スポーツに親しむ機会の創出等、新規利用者の獲得、利用者の増加を図る）に沿った自主事業の提案・実施に努めること。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	広報の充実	・ホームページ等による情報提供更新 月1回以上 ・施設利用者への広報誌、情報紙、チラシ等の発行 月1回以上	・ホームページ週1回以上更新(毎週水曜日スタッフ通信更新等) ・Instagram配信、LINE配信 ・アスパークだより月1回発行 ・大会予定表月1回発行 ・スポーツ教室プログラムガイド年4回発行	B	適切に対応していた。
	基準利用者数の達成	利用者数年間370,000人以上	369,348人	B	目標には及ばなかったが、前年より9,949人増としたことを評価し、B評価とする。次年度は現状を踏まえた指標としたい。
	基準稼働率の達成	稼働率(利用時間/利用可能時間) ・アリーナ70%以上 ・テニスコート50%以上(4月～10月) * 自主事業を含む	アリーナ:85.6% テニス:46.8%	B	アリーナの稼働率について指標を大きく上回る実績であることを評価する。また、テニスコートについては、目標には及ばなかったものの、天候の影響や夏が猛暑だった状況に鑑みB評価とする。
	各種サービス別満足度	利用者アンケートで「満足」が80%以上 :スポーツ教室参加満足度80%以上 :施設利用者満足度(接客)80%以上	・スポーツ教室参加満足度:81%以上満足 ・施設利用者満足度(接客):85%以上満足	B	目標を達成している。
	苦情・要望に対する対応	・苦情、要望は14営業日以内に回答 ・苦情対応マニュアル整備	適切に対応している 苦情対応マニュアル保有	B	適切に対応していた。
	地域連携・社会貢献活動	・地域活性化に資する事業の実施 ・社会貢献活動(地域連携事業)の実施	フードドライブ実施 亀田綿活用チャレンジ 職場体験受入れ 職場実習受入れ 道具市開催 いきいきフェスタ協力 江南区ウオーク協力	B	目標を達成している。
	江南区の施策に合致したサービス提供	・江南区の施策に合致した自主事業(スポーツ教室等)を年間1,000件以上実施 ・教室参加者 年間延べ35,000人以上	全208教室:1918件実施 年間延べ:35655人参加	B	目標を達成している。
財 務	利用者一人あたりのコスト削減額	利用者一人当たりコストを500円以下(人件費及び工事費を除く)	347円	A	利用者増加に努め、目標を大きく上回ってコスト削減したことを評価する。
	管理運営経費の削減への取り組み	管理運営経費を抑えるための取り組みを年1項目以上実施	スライド勤務を実施 スタッフによる清掃、小修繕を増加させ管理費削減 細めな消灯により光熱費削減	B	経費削減の取り組みを複数実施し、物価高騰のなか管理経費の節減に努めた点を評価する。
	市の歳入の増加	使用料収入を年間70,000,000円以上(武道場・屋内多目的運動場を含む)	65,907,584円	C	R7.4月の使用料改定に伴い、改定率(121%)を考慮し指標に反映したが、個人利用の減少、専用利用の増加に伴う使用料減免件数の増加等が影響し、目標には及ばなかった。 R7実績値に前年度3月定期券の駆け込み購入の増加分(前年比826,620円)や使用料減免の前年比(1,024,714円)を踏まえても目標値に届かないことから、C評価とする。

業 務	事業計画・事業報告の適切さ	・事業報告が分かりやすく、かつ正確である ・事業報告の締切厳守	適切に対応している	B	適切に対応していた。
	他施設等の連携に関する理解	他施設との連携会議を月1回以上開催	月2回以上館長会議の実施 区内体育施設協議会(2か月に1回)実施	B	適切に対応していた。
	日常連絡の適切さ	・事故報告は、発見より30分以内 ・重クレーム報告は1時間以内 ・市からの質問事項等の締切厳守	適切に対応している	B	適切に対応していた。
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	・安全責任者の配置と安全確保体制の確立 ・危機管理マニュアルの職員周知 ・防災訓練年2回以上実施	管理業務マニュアルの保有 全体研修実施 消防訓練年2回実施	B	適切に対応していた。
	事件・事故発生時の対応の適切さ	・利用者の安全確保のための対応が整理されているか(避難の誘導や蘇生対応等) ・警察や消防への連絡体制が整備されているか ・市の主管課への連絡体制が整備されているか ・事件・事故対応訓練や講習を年1回以上実施	救急対応事例1件対応 管理業務マニュアルの保有 防犯・防災講習会への参加	A	定期的に講習・訓練を実施しており、CPR及びAED事例が発生した際の緊急対応が適切であったことを高く評価する。
	事故防止の取組	・事件・事故対応マニュアルの作成や連絡体制の整備 ・補償を伴う事故発生件数 0件	管理業務マニュアルの保有 補償を伴う事故発生件数 0件	B	適切に対応していた。
	自己管理システム	事業報告書において、業務の自己点検と業務への反映についての具体的記載	月例報告書及び事業報告書での利用状況分析及び自己評価に記載	B	適切に対応していた。
	関係法令の遵守	個人情報保護、情報公開及びコンプライアンスに関する研修1回以上	WEB研修会の実施 全体研修実施	B	適切に対応していた。
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	適切	B	遵守している。
人 材	配置人員のスキルの習得度	職員研修を年2回以上実施	消防訓練(年2回) CPR&AED訓練(年2回) 接遇研修 水難救助訓練 スポーツ研修	A	目標以上の研修を実施し、人材育成及び技術向上に努めたことを評価する。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	適切	B	遵守している。

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。
(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指 定 管 理 者 記 載 欄 (ア ピ ー ル し た い 事 項 ・ 未 達 成 項 目 へ の 改 善 策 等)

亀田総合体育館(武道場・屋内多目的運動場を含む)の管理運営においては、安全管理及び適正な施設運営を徹底するとともに、利用促進に向けた各種事業を実施した。その結果、年間利用者数の増加及び稼働率の向上につながり、幅広い年代の利用拡大を図ることができた。
また、利用者ニーズを踏まえたサービス改善や環境整備に取り組み、利用満足度の向上と地域スポーツ活動の活性化に寄与した。
救命事案に際し、CPR&AEDを的確に行い心肺蘇生に成功、傷病者は完全社会復帰を果たした。江南消防署より感謝状を贈呈された。訓練の成果が出せたと考える。今後も安全管理を徹底し顧客満足度の高い施設管理運営を心掛けたい。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

使用料改定で顧客確保が難しいなか、利用者数について前年を上回る実績となった点は評価する。また、教室・施設への満足度が高い水準を維持していることも評価できる。日常の施設運営においては、事件・事故後の市への報告及び施設の安全面への対応も迅速であることを高く評価する。今後も、引き続き安心・安全に健康づくりに取り組むことができる施設として、利用者のニーズ把握とサービス向上に努め、利用者数の増加・満足度の向上が得られる施設運営を期待する。

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

令和7年度

施 設 名	新潟市江南区亀田地区体育施設（無人） 新潟市亀田運動広場（ふれあいドーム・少年野球場）		
管 理 者 名	公益財団法人 新潟市開発公社	指 定 期 間	令和6年4月1日 ~ 令和11年3月31日
担 当 課	江南区産業振興課		
所 在 地	新潟市江南区亀田緑町1丁目810番地3外		
根 拠 法 令	スポーツ基本法		
設 置 条 例	新潟市体育施設条例		
施 設 概 要	亀田運動広場 敷地面積 亀田運動広場全体 11,678.03㎡ 亀田運動広場駐車場 1,312.34㎡ (ふれあいドーム) 竣工年月日 平成13年5月1日 敷地面積 ふれあいドーム分 997.87㎡ 建築面積 984㎡ 構造 鉄骨造 酸化チタン膜噴1階建 砂入り人工芝 照明付 主要施設 ふれあいドーム（ゲートボールコート2面又はテニスコート1面） 物置・トイレ・駐車場 (少年野球場) 敷地面積 11,201㎡ 主要施設 少年野球場（クレー） 外野部分一部 ゲートボールコート 倉庫・トイレ・駐車スペース		

施 設 設 置 目 的
スポーツの普及および振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として、設置。
管 理 ・ 運 営 に 関 す る 基 本 理 念 ， 方 針 等
(1)新潟市体育施設条例（以下「条例」という。）に基づき、スポーツの普及および振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。
(2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、サービスの向上や平等利用を確保すること。
(3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。
(4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。
(5)新潟市個人情報の保護に関する法律施行条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。
(6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。
(7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。
(8)指定管理者制度を理解し、実践すること。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	基準利用者数の達成	利用者数年間19,000人以上(2施設の合計)	18,787人	C	定期利用団体の利用回数減が影響し、目標を達成できなかったため、C評価とする。
	各種サービス別満足度	利用者アンケートで「満足」が70%以上 :施設利用者満足度(接客)70%以上	83%以上満足	B	目標を達成している。
	苦情・要望に対する対応	・苦情・要望には14営業日以内に回答 ・苦情対応マニュアル整備	適切	B	適切に対応していた。
財 務	利用者一人当たりのコスト削減額	施設利用者一人当たりコストを70円以下(人件費及び工事費を除く)	69	B	目標を達成している。
	市の歳入の増加	施設使用料収入が年2,090,000円以上	2,338,482円	A	R7.4月使用料改定率(121%)を上回る実績値(前年比123%)となったことを評価する。
業 務	日常連絡の適切さ	・事故報告は、発見より30分以内 ・重クレーム報告は1時間以内 ・市からの質問事項等の締切厳守	適切	B	適切に対応していた。
	安全責任者の配置と安全確保体制確立	・無人施設における巡回安全責任者の選定及び不在時の代理人の選定 ・連絡体制、連絡方法マニュアルの整備	緊急連絡網・非常配備体制伝達系図の整備	B	適切に対応していた。
	事故防止の取組	・事件・事故対応マニュアルの作成や連絡体制の整備 ・補償を伴う重大事故発生件数 0件	適切	B	適切に対応していた。
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	適切	B	適切に対応していた。
人 材	配置人員のスキルの習得度	職員研修を年1回以上実施	スタッフ研修を実施 CPR&AED訓練(年2回)	A	目標以上の研修を実施し、人材育成及び技術向上に努めたことを評価する。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	適切	B	遵守している。

【評価基準】 A:要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている B:要求水準(評価指標)が達成されている C:要求水準(評価指標)が達成されていない ※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。 (評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指 定 管 理 者 記 載 欄 (ア ピ ー ル し た い 事 項 ・ 未 達 成 項 目 へ の 改 善 策 等)
【ふれあいドーム】 天候に左右されない特性を活かし、土日のテニス、サッカーの稼働率は高かったが、定期利用団体(ゲートボール)の利用者数が減少した。団体構成員の高齢化による部員減少が原因と思われる。放課後児童クラブの利用者数は増加しており、引き続き地域の子どもの遊びや運動の場として今後も開放していきたい。 【少年野球場】 安全面に配慮した環境づくりと円滑な利用調整を実施した。定期利用団体の利用人数が減少したことで、目標人数に達しなかった。定期利用団体との連携を図り、安心して活動できる施設運営に努めるとともに更なる利用促進を図っていきたい。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)
定期利用団体の活動回数の減少に伴い利用者数は前年に比べ減少してしましたが、施設の修繕等工夫しながら利用者数の確保に努めていることを評価する。今後も引き続き定期利用団体と連携を図りながら、サービスの向上に努め、利用者数の増加につなげていくことを期待する。

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

令和7年度

施設名	新潟市江南区亀田地区体育施設（無人・無料） かわね公園多目的グラウンド				
管理者名	公益財団法人 新潟市開発公社	指定期間	令和6年4月1日	～	令和11年3月31日
担当課	江南区産業振興課				
所在地	新潟市江南区亀田工業団地1丁目2528番地17				
根拠法令	都市公園法				
設置条例	新潟市都市公園条例				
施設概要	敷地面積 15,292㎡ 主要施設 野球場（クレー） ナイター照明（内野2基，外野2基）付 倉庫、トイレ *ナイター施設は有料				

施設設置目的
スポーツの普及および振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として設置。
管理・運営に関する基本理念，方針等
(1)新潟市都市公園条例（以下「条例」という。）に基づき、スポーツの普及および振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。 (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、サービスの向上や平等利用を確保すること。 (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。 (4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。 (5)新潟市個人情報の保護に関する法律施行条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。 (6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。 (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。 (8)指定管理者制度を理解し、実践すること。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	基準利用者数の達成	利用者数年間10,000人以上	10,385人	B	目標を達成している。
	各種サービス別満足度	利用者アンケートで「満足」が70%以上	97%以上満足	A	目標を大きく上回り、満足度100%に迫る回答を得られた点を評価する。
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望には14営業日以内に回答	適切	B	適切に対応していた。
財 務	利用者一人当たりのコスト削減額	利用者一人当たりコストを300円以下（人件費及び工事費除く）	251円	A	利用者数増に努め、一人当たりコストを前年に比べてさらに削減したことを評価する。
業 務	日常連絡の適切さ	・事故報告は、発見より30分以内 ・重クレーム報告は1時間以内 ・市からの質問事項等の締切厳守	適切	B	適切に対応していた。
	安全責任者の配置と安全確保体制確立	・無人施設における巡回安全責任者の選定及び不在時の代理人の選定 ・連絡体制、連絡方法マニュアルの整備	緊急連絡網・非常配備体制伝達系図の整備	B	適切に対応していた。
	事故防止の取組	・事件・事故対応マニュアルの作成や連絡体制の整備 ・補償を伴う重大事故発生件数 0件	適切	B	適切に対応していた。
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	適切	B	遵守している。
人 材	配置人員のスキルの習得度	職員研修を年1回以上実施	スタッフ研修を実施 CPR&AED訓練（年2回）	A	目標以上の研修を実施し、人材育成及び技術向上に努めたことを評価する。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	適切	B	遵守している。

【評価基準】
A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
B: 要求水準(評価指標)が達成されている
C: 要求水準(評価指標)が達成されていない
※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。
(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄（アピールしたい事項・未達成項目への改善策等）
日常点検および定期的な施設確認を徹底し、安全な施設環境の維持に努めた。施設の維持管理では、除草、芝刈りなどをスタッフが行った。引き続き安全管理体制の強化を図り、安心して利用できる施設運営を継続する。
基準利用者数の目標を達成することができた。複数の新規団体の利用が増えたことが要因である。
近隣企業等からの苦情が特になかった。駐車場の利用方法やボールが敷地外へ飛び込むことが少なかったと思われる。
今後も利用ルールやマナーを徹底するよう利用者に呼びかけていきたい。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 （ 所 見 ）
新規利用団体の獲得等、利用者の確保に努めている点について評価する。無人・無料施設ではあるが、今後も引き続き利用者と近隣事業所が安全・安心できる施設運営を期待する。